

静岡市剣道連盟広報だより

第 3 号
発行所 道連盟
静岡市 事務局
静岡市 駿河区
下川原6-2-20
Tel 054-256-4433

稽古あれこれ

静岡市剣道連盟

会長 滝川貞司



去る四月に、
前会長の佐藤淳
先生の後任とし
て会長に就任い

たしました。社会貢献の高い剣道連盟を目標に大役とは存じますが、一生懸命努める覚悟です。

今般、広報委員長から就任の挨拶の寄稿依頼がありましたので、一言申し述べさせていただきます。

我々の静岡市剣道連盟は、昭和二十七年四月一日、先輩の努力により創立されました。

以来五十五年の星霜を経て、その成果として今日の隆盛をみるのであります。創立当時の稽古環境は、今日の比ではなく稽古場所も少なく、相互の稽古にも苦勞があったものと思われれます。

最近では、稽古場所は数的には増えてはいますが、相互に赴いて稽古する出稽古が少なくなつたように感じます。

稽古の交流は、まず同一連盟内で、

次に他地区剣道連盟と、さらには県外へと足を延ばすのが手順かと思えます。

出稽古は実力が付く稽古方法です。宮本武蔵の時代にも、見ず知らずの土地に実力者を尋ね、命懸けで旅をする武者修業が盛んに行われたと、今に伝えられています。

私達の稽古も、多くの剣士と一緒に会し、竹刀を交えることが出来れば、平素の稽古より効果はさらに上がるでしょう。こういった稽古が合同稽古です。

静岡市剣道連盟は、事業の一環として、次のような稽古を実践しています。

毎週月曜日、木曜日の午後七時三〇分から同八時三〇分まで、場所は護国神社境内の養浩館（静岡県剣道連盟道場）です。

稽古の内容は、中学生から一般を対象に自由な相互稽古をしていただいています。最近では人数も内容も盛り上がりつつあり、より多くの剣士が参加することによって実力派が育っていくことを願っています。

さらに充実した合同稽古を盛んにする為に、役員の先生方には、いつもの参加意識を持って元立ち剣士としてご指導の一翼を担っていただ

きたいのであります。後継者の育成、斯道の発展のため是非ご協力をお願いいたします。

また、市民体育館夜間スポーツ教室の各指導員も同様の意識で自己錬磨と指導員としての向上を兼ねてご出席をお願い致します。

月・木の合同稽古が市剣連の活力化の源泉にし、生き生きとした市剣連を築きあげていきたいと思ひます。

受賞の栄に浴して

宮本 海



昨年九月、兵庫国体開会式の晩の役員懇談会の席上で、日本

体育協会より第一回スポーツグランプリ賞を戴くことが出来ました。対象は年令八五才以上で五十年以上のスポーツ歴を持ち、成績、貢献度抜群の者とのこと。小生は全剣連よりのご推薦によるものですが、全国三十余种目の団体よりの推薦者の中、七名のみ選抜に入れていただいたものでした。小生の推薦、選抜の要因は、先年小生が計らずもNHKの「ドキュメントにっぽん」に出演させて頂いたこと、また過般剣道範士号を授与されたこと等々によるものと拝聴しております。（ご推薦下さった全剣連会長様始め皆様方に

感謝の他ございません。）表彰式では、日体協会会長森元総理より表彰状をいただき握手を求められたりしました。そのあと、森会長立会の下、乾盃にご臨席の天皇・皇后両陛下に単独で面接、ご挨拶申し上げ、直にお言葉を賜るといふ終生願ってもない光栄に浴し、全く剣道冥利に尽きるといふもので、皆さんにご披露せずに居られない気持ちです。

さて、剣道について。（小生は剣道をやって本当によかったと思っております。）小生は「剣禅一致」を座右の銘としております。「剣は剣刃上の禅、禅は心法上の剣」ともいわれ、いづれも生死の極限を明らかにんとするものです。剣道は厳しい鍛錬修業の間、一途に正しい心、人間形成を求めるものです。古人も「優劣あるは剣に非ず」といわれています。然るに昨今の剣道界は試合が多くなり勝負にこだわり過ぎる向があり、日本の剣道はどうなることかと憂慮に堪えません。諸士、須らく剣道の本質を弁え、真の日本伝統の剣道の継承発展に努められんことを願って已みません。

「山々雲」という諺もあります。剣に極限はありません。小生卒寿も真近で体力も頓に劣えて参りましたが、体力の続く限り一歩でも上を目指して精進修業したいものと願うものです。



杖道の特性と稽古について

鈴木康介



杖術を表芸とする流儀の伝書に曰く「突けば槍、払えば薙刀、

持たば太刀、杖は、かくにもはずれざりけり」又、「傷つけず、人をこらして戒しむる教へは杖の外にはやある」等の古歌にある様に、杖道は杖（長さ一・二八米。直径一・四釐）を武器とし突き、払い、打の左右両技を等しく使う武道で、日本古来の歴史的伝統をもち老若男女を問わず修業することが出来、稽古によって内臓と関係あるツボが集中する手の各部を様々な角度で刺避することにによる健康法としての効果もあると言われ、この杖道の技を、かつて講道館長であった嘉納治五郎先生や剣聖と言われた中山博道先生も推奨されたとの話も聞いております。

全日本剣道連盟には剣道・居合道・杖道の三部があり、我々が稽古している全日本剣道連盟杖道形は約四百余年の歴史をもつ杖術、棒杖の多数い組形の中から基本十二本、形十二本を選んだもので昭和四十三年制定され、その後三回の一部改正、改定が行われて現在に至っております。杖道の稽古は先ず杖、太刀を持つ

た場合の礼法、構えに次いで基本形の単独動作から始め、正しい杖の扱い方、正しい姿勢、打突の技を習得し次に太刀を相手に杖の基本形を遣う基本形の相対動作の稽古に入り仕、打両方の確突な打突、間合、気合、体裁き等を身に付けた後、制定形十二本の稽古に入り更に古流の稽古へと進んで行きますが、数多い組形をマスターして行く為には不断の努力、研究が必要であり、これらを乗り越えて修行を積んで行くことにより、この一本の杖が自分の手足の如く操作し相手の動作に応じて千変万化し効果を発揮する様になります。

京都審査会を

終了して



山本勝次

・始めに
この度、全日本剣道連盟京都審査会におきまして剣道八段に合格させていただきました。

これまでご指導いただきました諸先生、諸先輩・剣友の皆様深く感謝し、心より厚く御礼申し上げます。

今、合格の喜びと同時にその重責に身の震える思いであります。合格したとはいえ、相変わらずの未熟者でありますので尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今回、静岡市剣道より投稿の機会をいただきましたので、感謝の意を込め、これまでのことを少し振り返ってみたいと思います。皆様の何かの参考になれば幸いです。

・決心

平成六年、七段初挑戦に失敗して、これといって実績のない私が段位を一つ上げるには生半可な気持ちでは達成できないということを思い知らされました。

「必ず合格する」、「何が何でも合格する」という強い気持ちの必要性を実感した私は「養浩館の朝稽古は休まない」と決心しました。七段合格後もその気持ちは変わることなく八段受審にそのまま向きました。合格の可能性は〇ではない。一%有る。「精神一到何事不成」を胸に更に気持ち強めました。

・継続と集中

決心はしたものの、人間とは実に弱いもので、自分に都合の良い理由を勝手につけて「今日はしかたないから休んでいいよ、寝ていていいよ」ともう一人の私が囁きます。しかし、決心したことをまず継続することが何より大事と考え、辛くとも眠くとも「とりあえず今日は行って明日休もう」、次の朝になっても「今日は

行って明日休もう」などと自分に言い聞かせることで毎日とは言えませんが継続することができました。

また、その朝稽古において、井上義彦範士からご指導いただいた「合気の先」を念頭に「合気の手で初太刀一本を捨てきる」稽古に集中しました。

・平常心の大切さ

今までは試合用とか審査用とかにこだわって面手拭いや竹刀を準備していたのですが、今回は何のためらいもなくいつも稽古で使用している使い古した手拭いと使い慣れた竹刀で臨みました。普段使っている何かを身に付けていたという思いからでした。一次審査開始。躊躇から立ち上がると何とも不思議なことに養浩館で稽古している感覚になりました。そして、「合気の手」だけを心掛け相手に打ち込みました。二次審査もやや緊張はしましたが、普段に近い気持ちで臨むことができました。

・終わりに

今回の審査について、正直なところ、一次、二次審査とも稽古の内容をはっきり記憶しておりませんが、今、冷静に振り返れば、前三回の大きな違いは「普段に近い気持ちで臨めた」ことだったのかなと思いません。

意識して稽古し、無意識で臨む。普段の稽古の大切さを改めて知ることができた審査会でもありました。今回、合格させていただいた感謝

高体連だより

と感激を忘れないため、そして更なる精進のため、明日も朝稽古に行こうと思います。
ありがとうございました。

「国体に出場して」

静岡市立高校
河村幸広

僕が国体に出たいと目標を持ったのは、中学生の時に行われた静岡国体を見てからでした。県の代表として試合をしたいと思いました。

高校に入ってから目標達成のために、部活動が終わってから、家で素振りや走り込みなどの自主トレーニングも続けました。仲間の励ましもあり、選考会もあきらめずにやることができ、メンバーに選ばれることができました。

いつもは宿敵として競い合った他校の友達ともチームを組めて、とても楽しく良い経験をする事ができました。この経験を生かし、これからも剣道を頑張っていきたいと思えます。

静岡市立高校
安永宗史

私は静岡県の代表として国体に参加させてもらい、あの何とも言えない緊張感や他県の独特で技術の高い剣道を感じ、とても貴重な体験をさ

せてもらうことができました。

しかし、これは自分一人の力で手に入れたものではありません。三年間辛い時も苦しい時も一緒に頑張った仲間、熱心に指導してくれる先生方、いつも支えてくれる両親がいてくれたからです。

私が高校三年間で学んだことは、自分がやることには自信を持ち最後まであきらめないこと、常に感謝の気持ちを忘れないということです。

中体連だより

「僕たちの剣道」

辻塚伸幸

僕たち末広中剣道部では、一人ひとりがしっかりと声を出して稽古することを大切にしています。声を出さないで稽古をしても気持ちが入らないと思うからです。一本をとるためには、自分を信じて打ち込む気持ちが必要だと思っております。

また、自分から進んで稽古に臨むということも大切にしています。稽古をやらされるのではなく、自分からやるぞという気持ちをもって小さなことにもこだわりをもって取り組むことができると思うからです。受け身になると、悪い癖がついてしまうとも考えられるからです。

日頃からの練習での成果から、市民大会では自分たちの力を発揮することができ、優勝することができま

した。仲間と助け合うことの大切さを学ぶことができました。しかし、県大会では他地区との力の差を実感しました。ひとつひとつの動きに無駄がないと思えました。

僕たちの最終目標は、中体連での県大会優勝です。この目標に達成するために、大きな声を出し、自分から進んで日々の稽古を大切にしながらばっていききたいと思えます。

平成十九年度大会結果

★静岡市剣道連盟55周年記念大会兼第2回鈴与杯少年剣道大会

(五月十三日・清水総合運動場体育館)

小学

- ①静岡武修館
- ②富剣会
- ③ヤマスポ
- ④興津剣友会



中学

- ▽男子
 - ①高松
 - ②服織
 - ③東
 - ④清水六
- ▽女子
 - ①高松
 - ②東
 - ③末広
 - ④城山

★第45回近県青少年剣道大会

(八月五日・静岡市北部体育館)

近県青少年

- ①沼津市剣道連盟
- ②静岡市葵区
- ③静岡市駿河区
- ④榛原クラブ

小学

- ①青島剣道スポ少
- ②新心館剣教
- ③富士松剣友会
- ④可美剣清会

★第31回葵杯中学剣道大会

(九月十七日・北部体育館)

▽男子

- ①高台
- ②榛原
- ③富士南
- ④三島北

▽女子

- ①三ヶ日
- ②浜松西部
- ③可美
- ④三方原

★第5回静岡市民剣道大会

(十月十四日・中央体育館)



▽小学四年
①佐竹 秀 (武修館)



▽小学五年
①杉元愛花 (ヤマスポ)



▽小学六年
①本川凜一 (武修館)

- ②岡村海渡 (新運館)
- ③小澤海斗 (浜田剣教)
- ④西澤卓真 (春風館)

- ②小澤和史 (ヤマスポ)
- ③横山真依子 (剣志会)
- ④後藤大輝 (興津剣友会)

- ②一木崇史 (芙蓉剣教)
- ③森 俊貴 (武修館)
- ④大原健将 (芙蓉剣教)



▽中学男子
〈一年〉
①渡辺史晃
(翔洋)



〈二年〉
①吉岡 優
(高松)



〈三年〉
①竹田和史
(高松)



▽中学女子
〈一年〉
①栗林万葉
(いずみ)



▽中学女子
〈二年〉
①西ヶ谷葉月
(高松)

②山田夏希(高松) ③河村沙織(高松)
③岡田あずさ(高松)

②和田菜摘(武修館) ③佐藤敦子(安東)
③酒井亜希子(新運館)

②宇佐美登夢(東) ③茂木雅志(観山)
③牧野史椰

②大橋 亮(豊田) ③久田隼之介(安東)
③古山正迪(翔洋)

②望月亮汰(翔洋) ③小澤尚紀(服織)
③高橋義季(興津剣友会)



▽中学女子
〈三年〉
①寺浦仁美
(末広)



▽高校男子
①藤井貴弘
(静岡市高)



▽高校女子
①倉澤絢生
(静岡市立)



▽大学・一般男子
①佐野智之
(常葉大)



▽大学・一般女子
①橋本真弓
(常葉大)

②木下真奈(常葉大) ③森 真琴(常葉大)
③松田あゆみ(常葉大)

②西澤陽介(尚志会) ③山田崇元(常葉大)
③森 俊八(静大)

②稲葉澄香(常葉橋) ③河村しげみ(静岡市立)
③石田智子(常葉橋)

②青島悠太(静岡市高) ③谷津祐哉(静岡工)
③中島一樹(静岡市高)

②川崎旭穂(美和) ③内田芽衣(清水六)
③新海美月(城山)

★第5回静岡市民中学新人団体剣道大会(十一月三日・南部体育館)
〈団体〉
▽男子
①末広 ②東 ③服織 ④豊田
▽女子
①高松 ②末広 ③安東 ④南

★清庵地区中学生新人剣道大会(十一月三日・清水第七中学校)
〈団体〉▽男子①東海大翔洋②小島③清水六④清水七⑤清水二
▽女子①清水七②清水八③蒲原④清水六⑤清水二
〈個人〉▽男子①鈴木(清水六)②渡辺(東海大翔洋)③古山(東海大翔洋)④滝口(東海大翔洋)⑤宮城島(清水七)
▽女子①桐林(興津)②片田(清水七)③小野(清水二)③宮城島(清水七)

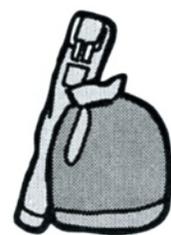
◎合同稽古会参加のお願い

滝川新会長は、就任の御挨拶の中で静岡市剣道連盟をより一層生き生きとした剣道連盟を築きあげていきたいと抱負を述べられています。具休策の一つに現在実施しています合同稽古会の充実をあげています。皆様、是非お誘いあわせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

稽古日・時 毎週 月曜日・木曜日 午後七時三〇分～ 午後八時三〇分

場 所 養浩館
対象・会費 中学生から大人一般 会費は無料

その他 各校顧問の先生方には部員の皆様にご紹介をさせていただき参加をすめてくださるようお願い致します。



編集後記

皆様のご協力により第三号が発行できますこと、厚くお礼申し上げます。さて、平成十九年度は、役員改選の年にあたり、会長はじめ多くの役員の皆様が退任されました。皆様の御功績に深く感謝申し上げますとともに、ますますの御活躍を祈念申し上げます。

佐藤淳前会長には、三年前に本広報誌を創刊するにあたり格別な御理解と御指導を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。
広報委員長 鈴木 靖
広報副委員長 高橋 長吉
広報委員 小林 光男
広報委員 伊久美典夫
広報委員 葛西 英男